

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>1. 動物園・水族園の空港島への移転について</p> <p>昨今、マスコミ等で「地方分権」、「地域主権」という言葉が取り上げられている。国の関与を受けずに、地方の実勢を尊重してその権限の強化を目指す主張であり、色々な所で例えば「広域連合」などの議論が行われている。</p> <p>地域主権となれば、地方の将来は地方で決められることになるが、全国の都市間競争はますます激化する。</p> <p>今後、神戸が都市間競争に勝ち抜き選ばれる都市となっていくため、これまで以上に都市の魅力向上に取り組んでいかねばならない。</p> <p>国内はもちろん海外からもたくさんの方々に訪れてもらえるまち神戸を創り上げていくという観点から、数点お伺いしたい。</p> <p>神戸の新たな魅力創造のための1点目の提案だが、「動物園」と「水族園」を神戸空港に集結し、将来の活力ある神戸への第一歩としてはどうか。</p> <p>「王子動物園」も「須磨海浜水族園」も、いろいろと工夫をされて、一生懸命頑張っておられるが、何と言っても施設の老朽化が進んでいる。日本一の「旭山動物園」や最近新しく作り変えられた「アクアワールド大洗」と比べてもいまひとつ見劣りする。</p> <p>費用がずいぶんかかることになるが、跡地を売却することで財源を確</p>	<p>局 長</p>	<p>少子・超高齢化の進行により、人口減少が確実に視される中で、他都市においても、都市活力の源泉である交流人口を増やすため、都市間競争が激化している。「地域主権」が進み、地方の自由度が増すこととなれば、「都市の魅力」の向上に取り組む必要がある。</p> <p>国内外から多くの観光客が来てもらうことも大事であり、他都市にはない「ナンバーワン」「オンリーワン」の強みが必要であるという点で、神戸における観光資源を考えた場合に、真っ先に思い浮かぶのは六甲山・摩耶山からの「1,000万ドルの夜景」とウォーターフロントである。</p> <p>夜景に関しては、先日の本会議でも市長から答弁があったように、夜景の鑑賞スポットまでのアクセスの改善に努めるとともに、海からの夜景やまち中の夜景等も含めて発信することなどにより、日帰り型観光から滞在型観光への転換をはかっているところである。</p> <p>ウォーターフロントについては、「デザイン都市・神戸」にふさわしい魅力的な空間の形成を目指して検討を進めているところであり、将来構想として今年度中に取りまとめたいと思っている。</p> <p>動物園、水族園については、子どもから大人まで誰もが楽しめる施設であり、観光客にとっては極めて人気の高い観光資源であると認識している。旭山動物園においてはテレビでよく放映されており、アザラシの円柱水槽、オランウータンの空中散歩など、ユニークな仕掛けが大きな集客に結びついている。市営であるが、予算をうまく配分して、次々に新しいことをして一時の観光客の増ではなく、続いた観光客の増となっている。</p> <p>王子動物園と須磨海浜水族園は、確かに他都市の新しい施設と比べるとコンパクトで、年数もたっていることから老朽化が見られる部分もあるが、一方</p>

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>保し、しっかりとした理念のもと、全国から注目される神戸の魅力ある観光資源として、神戸の玄関口である空港島においてリニューアルをはかるというように、企画調整局が思い切った政策提案を行っていただきたいと思っている。</p> <p>全国のいろいろなところで、例えば香港やシンガポールやフィリピンなどでは、日本ツアーでは、「旭山動物園に行こう」ということが書いてあると聞いている。もちろん国内の沖縄や鹿児島などでも「旭山動物園に行こう」とPRされている。「神戸王子動物園に行こう」ということは聞いたことがない。そのような意味で神戸もすばらしい動物園・水族園を持ちたいと思っている。見解を伺いたい。</p> <p>(再質問)</p> <p>局長の動物園、水族園についての答弁は、想定外のいい回答を期待していたが、想定内であった。</p> <p>王子動物園、須磨海浜水族園は本当に努力していることは重々承知している。王子動物園は全国で第5位の入園者数であり、水族園が8位であることも知っている。140万人と110万人の入園者数があり、そのうち6割が無料であることも知ってい</p>	<p>局 長</p>	<p>で魅力アップに取り組んでいる。</p> <p>平成20年に「王子動物園基本計画」を策定し、動物の生態に配慮した展示に取り組んでおり、最近ではキリンテラスの整備を21年度に行い、またシマウマ舎の整備を20年度に行った。</p> <p>水族園においてはアザラシ・ペンギン館の整備を20年度から21年度にかけて行い、またウミガメプールのリニューアルを20年度に実施し、あるいは「ウミガメの餌やり体験」など参加型体験プログラムにも新たにに取り組んでいる。</p> <p>地域にとってはシンボルとなる施設でもあり、例えば王子動物園は、「灘文化軸」として摩耶山からHAT神戸を結んだ灘区西部地域において、地元が中心となって文化をテーマとした特色のあるまちづくりが展開されているところである。</p> <p>こういったことから、当面はそれぞれの施設において引き続き魅力アップに取り組まれるものと考えている。</p> <p>いずれにせよ、今後、「ナンバーワン」「オンリーワン」の視点はますます重要となると思われるが、最近では「鉄人28号モニュメント」といった新たな「オンリーワン」も生まれており、引き続き全庁をあげて既存の観光資源の魅力アップに取り組むとともに、新たな観光資源の発掘にも努めていきたい。</p> <p>王子動物園の敷地面積は約8万㎡あり、非常に広大な面積がある。現在のところは、建設局も「王子動物園基本計画」を策定し取り組んでいる。将来的には60年が経過しているなかで、老朽化も進んでいることもあり、今の場所ですっとやっていくかという問題もあるが、いろいろと協議してまいりたい。</p>

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>る。しかし、王子動物園に行こう、須磨海浜水族園に行こうという人がいないことが問題であると思っている。</p> <p>沖縄の美ら海水族館や旭山動物園に行こうというツアーがいっぱいある。神戸空港で動物園と水族園を見ようと思っても、「1日では見切れない。2日も3日もかかる。3日目には有馬でも行こう」というツアーを神戸市全体のために作るべきだと思う。新しい施設を作るために費用がかかるというが、王子動物園の土地を考えたらおつりがくると思う。文化軸も大切なことだが、全国の人たち、あるいは海外の人々が神戸空港にある動物園、水族園に行こうと思ってもらえるようにすべきだと思う。本当は局長もいい話だと思っているはずである。ぜひ検討していただきたいがどうか。</p>		